



～信更の子どもたちが、スズランの花のごとく明るく清らかに伸びてほしいとの願いを込めて～

校長室の窓

信更中学校「立春式」によせて

校長 小山 貴

2月6日(月)、多くのご来賓、保護者の皆様のご列席のもと、信更中学校伝統の「立春式」を挙行いたしました。2年生の一人一人が、この節目の日に、全校が見守る中、14才の決意として「座右の銘」を発表しました。その姿、その内容に本当に感動しました。調べてみると、最初の立春式は平成元年度に行われています。しかし、最初の頃は2年生の代表1名が決意表明するだけで、主は卒業生による講演会だったようです。今のような形の立春式がいつから行われているのかわかりませんでした。28年間も続いている信更中学校「立春式」は本校の宝物だと感じました。

私は、激励として、この間横綱に昇進した稀勢の里(本名:萩原寛さん)のエピソードとともに、『稚心を去れ』の言葉を贈らせていただきました。

(前略) 萩原少年15才が卒業文集に記した言葉です。

「天才は 生まれつきです。もうなれません。努力です。努力で天才に勝ちます」。

萩原少年15才の決意です。萩原少年は、中学校卒業と同時に、高校には行かず、大相撲の世界に飛び込みました。相撲界で最も稽古がきびしいことで知られた鳴戸部屋に入門しました。「一番きびしいところで磨きたい。やるなら相撲一本で生きていこうと思った」と当時を振り返っています。そして、猛稽古の末、初土俵から15年。ついに横綱の地位に上り詰めました。横綱になったこともすごいです。15才で、きびしい世界に飛び込む決意をしたことが すごいです。そのことを最近知り、驚きを受けました。萩原寛さん、稀勢の里は、15才にして、『幼稚な気持ちを捨て去り、将来に向かって立った』のです。『稚心(ちしん)を去(さ)れ』です。

若いゆえに持てる気力と体力をもって、時には豊かな経験と知恵を持つよき先輩方の助言に耳を傾けながら、これから訪れる様々な節目を大切に生き、充実した人生を歩んで下さい。自分が生まれ育ったふるさと信更を愛し、家族やお世話になった方々への感謝の心を忘れず、国際的な広い視野とより高い志を持って、大きくはばたいてください。

初心を忘れず、どんな人生の歩みをしているか。2年生の6年後の成人式が楽しみです。



立春式 1年生の感想より

◎先輩の姿を見て学んだことは、堂々としていたということです。私は発表するときや授業中の時にあまり発言をしないので、これからは自分の答えや予想などを言えるようにしていきたいです。

◎たくさんの方々がいる中、前を向き堂々と自分の座右の銘を発表していたり、自分の意見が表れていて頼もしかったです。これから先輩になっていきます。いろんな事を人に任せるのではなく、自ら積極的にやっていくようにしたいです。1年後は決意を発表します。もう1回これまでの自分を振り返って考えていきたいです。

立春式の特集 2月6日(月)

立春式とは、人生の節目として14歳(元服の歳)になった少年・少女を対象に「立志・自覚・健康」をテーマに、前途を祝福し、それぞれの夢の実現にむけて希望をもって進んでいけるよう励ます行事です。この式を迎えるにあたり2年生全員が自分の今までの生き方を振り返り、今後の生き方について考え、各々その願いにふさわしい座右の銘を選びます。そして、全校生徒・教職員・来賓・保護者の前で堂々と自分の志を宣言し、励ましを受けます。この立春式は生徒にとって、心身ともに健やかな中学生生活を送り、品格ある大人になるために前向きに生きていこうとする態度を育てる大切な行事となっています。



この言葉を選んだ理由は、やるべきことを見失わずにがんばり続けることは大切だと思ったからです。しかし、それはとても難しいと思います。今まで私は、部活動で自分の目標をしっかりと決めたのに、それを最後まで成し遂げることができませんでした。「もっとしっかりやっていたらよかった」と後悔しました。だから、これからは、自分が決めたことややらなければいけないことは責任を持って行い、信頼される人になりたいです。そこで、私は、座右の銘を「万里一空」にしました。これからは、途中で諦めそうになっても、そこを乗り越え、努力し続けたいです。

僕は、好きなことを考えたりしていて人の話に入れなかったり、楽しい話をしている時に聞いているだけで、話ができないことがありました。でもこの頃は、給食の時にみんなと話ができるようになってきました。僕の言ったことにみんなが返してくれたり、みんなの話に僕も入ることがあります。信更中のみんなは、本当に楽しくて、一緒にいるとうれしい気持ちになります。これからもみんなと楽しくやっていきたいと思い「和顔愛語」にしました。



今まで僕は、物や友だちを大切にすること、諦めないことを大切にしてきました。課題だと思ふことは、自分の言ったことを最後までやり遂げることです。だから僕は、座右の銘を「後生大事」にしました。物事というのは、物だけではありません。自分で決めたことを諦めずに、しっかりとやり遂げることも、物事を大切にすることだと思ふます。物や人を大切にするという自分の長所をさらに伸ばしていけるようにしたいです。

私は今まで、人に伝えること、任された仕事を最後までやり切ることを大切にして生活してきました。人に伝えるということは、自分の意見を、自分の言葉で伝えるということです。でも、これまでを振り返ってみると、人の意見に合わせるが多かったです。改めて自分の意見をしっかりと言わないといけないと思ひました。だから、「桜梅桃李」という言葉を選びました。これからは、「自分らしさ」をだして、意見や行動ができるようにしていきたいです。安易に周りに左右されず、自分らしく生きて、後悔のない人生を送りたいです。



僕は今まで、友だちを楽しませたり友だちと仲良く遊んだりして友情を大切にしてきました。僕は、友だちがいないと、難しいことを乗り越えられないと思ひたので、友情を大切にしたいと思ひています。仲間同士で助け合い、仲間と一緒に難しいことや大変なことを乗り越えていきたいです。だから座右の銘に「管鮑之交」を選びました。



私は今まで、不満に思ひたことがそのまま顔に出てしまっていました。これから先、多くの人とかかわっていく上で、不満に思ひたことが顔に出てしまうことは不利だと思ひます。実際に友だちと気まずくなってしまうこともありました。そんなことを繰り返していたら、いつまでたっても人とかかわることが苦手になってしまいます。それは嫌です。

だから私は、座右の銘を「用和為貴」にしました。これからは、不満に思ひても、つらくても、自分の感情をそのまま出さず、笑顔を忘れず、積極的に人とかかわっていききたいと思ひます。

【3月の主な予定】

- 3日(金) 生徒総会
- 8日(水) 公立後期選抜試験
- 9日(木)～15日(水) 3年特別日課
- 10日(金) 鏡贈呈式
- 13日(月) 同窓会記念品贈呈式
- 14日(火) 3年生を送る会(14:30～15:20) ※
- 15日(水) 3学期終業式
- 16日(木) 卒業証書授与式
- 30日(木) 新年度準備登校日



保護者の皆様、地域の皆様にご支援をいただきながら、充実した1年を送れたように思ひます。「終わりを慎む」ということばがふさわしいときです。3年生の晴れやかな旅立ちに向けて、締めくくりをしっかりとしていきたいと思ひます。 よろしくお願ひいたします。

※3年生を送る会は、一般公開です。ご自由にご参加下さい。